

# 第 15 期 pES club シナリオ 4

平成 28 年 4 月 17 日

日本大学歯学部 歯科保存第Ⅲ講座  
蓮池 聡  
東京医科歯科大学大学院 健康推進歯学分野  
南郷 里奈  
東京北医療センター 総合診療科  
南郷 栄秀  
<http://spell.umin.jp>

あなたは、住宅街駅前の雑居ビル 1 階にある具零堂歯科クリニックに勤務する、2 年目歯科衛生士です。

ある朝、開院準備のため医院前を掃除していると、ビル清掃員の簿家一さん（67 歳男性）に話しかけられました。簿家さんは退職後、このビルで清掃員として働いています。

簿家さん 「おはよう。今日は暖かいね」

あなた 「そうですね。簿家さん、お変わりありませんか」

簿家さん 「いやーそれがさー、なんだか奥歯の調子が悪くて．．．診てもらったほうがいいかねえ。血が出るんだよね、歯茎から。違和感もあるしな」

あなた 「それはつらそうですね。良くないですよ！．．．知ってます？歯茎の健康って全身の健康にも影響するんですよ！」

簿家さん 「もちろん知ってるよー！歯周病があるとボケやすいつてテレビで言ってたしなあー。ボケちまったら子供にも迷惑かかるしなあ」

あなた 「ボケ．．．??」

簿家さん 「そんなことも知らんのかい．．．」

あなた 「い、いえ．．．」

簿家さん 「なんだか調子が悪いからさあ、いつそのこと抜いてもらおうかな、奥歯。抜きゃあ血も出なくなるだろ。ボケなくて済むだろうしな！」

あなた 「ちょっと、それは極端じゃないですかねえ．．．」

あなたは、歯周病が本当に認知症の原因になるのか、調べてみることにしました。